

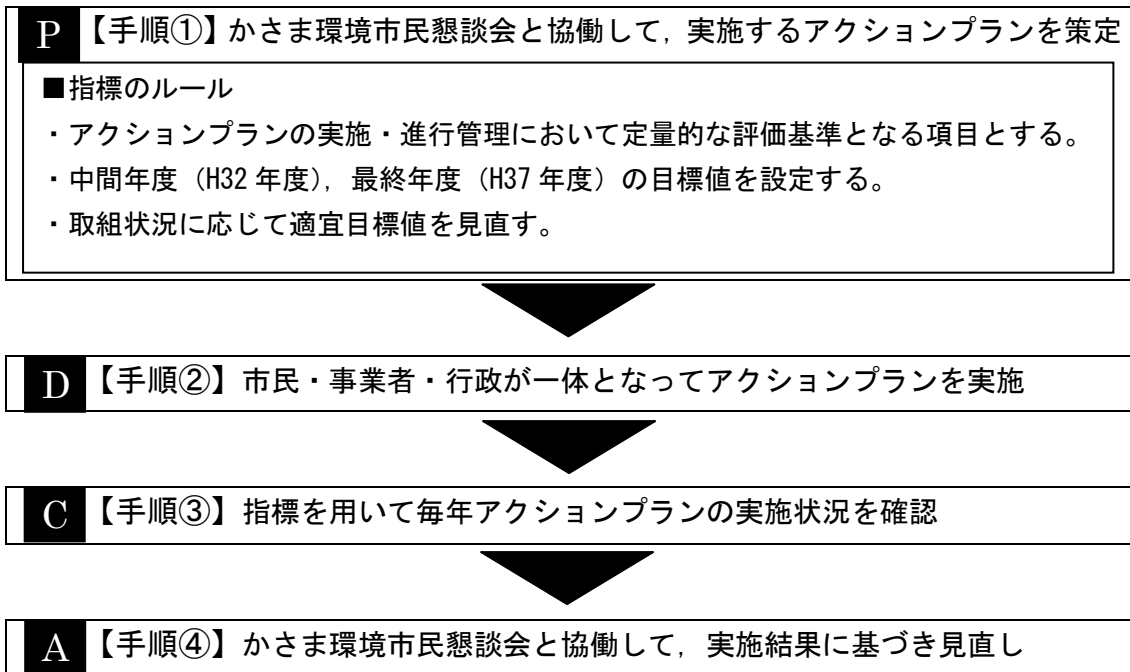
第2章 笠間市が力を入れる重点事業

1. アクションプランの位置づけとねらい

重点事業を実行する活動計画として、アクションプランを導入します。アクションプランは、重点事業（かさまエコプロジェクト）を実行する活動計画です。アクションプランは、市が「かさま環境市民懇談会」と協働して毎年、策定・見直しを行い、本市の環境状態や取組状況，社会情勢に応じた取組内容とするとともに，多くの主体の意見を取組へ反映します。

2. アクションプランの運用方法

次の手順に従って，アクションプランを運用します。



3. アクションプラン検討・策定の視点

次の視点に基づいて，笠間らしく環境を保全・創造するアクションプランを策定する。

- 1) 笠間市の特徴や環境問題からみて，特に**重点的な推進が必要**と考えられる取組。
- 2) 市民や事業者などの関心が高く，**発展的な行動や波及効果が期待できる**取組。
- 3) **市民や事業者と行政が協働して**取り組んでいく取組。
- 4) **笠間らしさや笠間の魅力**を引き出すような創造的な取組。

4. 重点事業の内容

重点事業	ねらい	個別の取組
[自然再生・保全] 1. 自然共生プロジェクト	・市の自然環境状況の把握及び再生・保全活動を通じて、生物多様性を維持する豊かな自然環境を創造します。	1-1 かさまの自然環境調査
		1-2 かさまの自然再生
		1-3 生物多様性保全推進
[まち美化・不法投棄対策] 2. すみよいまちづくりプロジェクト	・環境美化を行うとともに、マナーの向上を図り、美しく快適な過ごしやすいまちを形成します。	2-1 かさま環境美化里親制度普及
		2-2 マナー向上推進
[3Rの推進] 3. 資源循環型まちづくりプロジェクト	・ごみの減量化及びリサイクルを実施することにより3Rを推進し、資源を循環利用するまちを形成します。	3-1 2R推進
		3-2 リサイクル促進
[温暖化対策の推進] 4. ストップ温暖化プロジェクト	・日常生活や事業活動における取組や森林整備を実施し、市全体で二酸化炭素の排出量を削減します。	4-1 かさまの森林（もり）推進
		4-2 環境にやさしい交通推進
		4-3 市民の主体的な温暖化対策促進
[環境教育・学習・活動の促進] 5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト	・環境教育・学習や活動の場の提供を通して、市民・事業者が主体的に環境保全に取り組む体制を形成します。	5-1 主体的な環境教育促進
		5-2 市民環境学習促進
		5-3 市民環境活動促進

【自然再生・保全】 1. 自然共生プロジェクト

1-1 かさまの自然環境調査

〈ねらい〉 自然環境調査を通じて、本市の自然環境の状態を把握し、保全活動の参考とします。また、市民・事業者へ情報提供、周知することにより啓発を行い、市の自然環境へ関心を持ってもらい、保全活動への意識醸成を図ります。

〈実施事業〉 自然環境調査結果を発表しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
自然環境調査の実施回数	年4回	年4回	年4回	年4回
年次報告書への記載	年1回	年1回	年1回	年1回

実施内容

自然環境調査結果を取りまとめ、年次報告書に記載したり、環境イベント等で発表し広く公表します。

■ 5月(北山公園～天神の里)

この地域は、友部丘陵の南端部を形成し、山林、沢、湿地などが自然の姿に近い良好な状態に保たれています。公園内には湿性生態園やアヤメ・ショウブ園があり、ミズバショウをはじめ、アヤメ、ハナショウブ、カキツバタなど多くの湿性植物が植栽されており、四季折々の花を楽しむことができます。

また、「北山公園ホテルの里」、南東の天神池周辺に「ビオトープ天神の里」が整備されています。

調査で確認した主な植物〔5月12日〕

○花が咲く(種子)植物(科名)

オカタツナミソウ(シソ科)、カキツバタ(アヤメ科)、コアジサイ(ユキノシタ科)など125種

○シダ植物

コモチシダ(シシガシラ科)、ジュウモンジシダ(オシダ科)など22種

○地衣類

ウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、サネゴケ(サネゴケ科)など11種



カキツバタ



コアジサイ



ジュウモンジシダ

■ 7月(佐白山周辺)

佐白山は標高182.1mの低い山ではあるが、笠間城址としても有名で、笠間県立自然公園として保護されている。全山花崗岩よりなり山頂下の石倉の巨岩はまわりのアカマツ・ヒノキ林に映え、素晴らしい景観である。

また、歌うたい石散策路が整備され、その周辺には、ウラジロやコシダ、イズセンリョウ、リンドウ、サカキなど暖地性の貴重種がみられる。

調査で確認した植物〔7月12日〕

○花が咲く(種子)植物

アオイスミレ(スミレ科)、ツルリンドウ(リンドウ科)、ヤマユリ(ユリ科)など242種

○シダ植物

ウラジロ(ウラジロ科)、ヤブソテツ(オシダ科)など30種

○地衣類

コモジゴケ(モジゴケ科)、ヘリトリゴケ(ヘリトリゴケ科)など16種。



ヤブカンゾウ



ヤマユリ



ウラジロ

■ 9月(館岸山)

館岸山は、海拔256mの低い山であるが、館岸城跡や金山跡などがある。ヒノキやスギの植林の中にアカマツやモミ、イタヤカエデ、スタジイ、ハリギリ、ホウノキ、ヤマザクラなどの高木が混じり雑木も多い。

調査で確認した植物〔9月6日〕

○花が咲く(種子)植物

コ克蘭(ラン科)、ツルリンドウ(リンドウ科)、ヤマジノホトトギス(ユリ科)など118種

○シダ植物

ウラジロ(ウラジロ科)、ノキシノブ(ウラボシ科)など14種

○地衣類

ウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、ヘリトリゴケ(ヘリトリゴケ科)など8種



ユウガギク



ヤマジノホトトギス



アラカシの葉

■ 11月(笠間湖周辺)

笠間湖の名称で親しまれているダム湖は、多くの沢が入り組んでおり、小魚の生息に適しているほか、ダム湖周辺の環境整備により、動植物、魚類、鳥類の保護をしている。また、その周辺地域は、針葉樹林と広葉樹林に囲まれる自然豊かな地域である。

調査で確認した植物〔11月22日〕

○花が咲く(種子)植物

アオキ(ミズキ科)、ゴンズイ(ミツバウツギ科)、ツルリンドウ(リンドウ科)
など207種

○シダ植物

イヌガンソク(コウヤワラビ科)、ヤブソテツ(オシダ科)など29種

○地衣類

ウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、ナミガタウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)
など12種



ゴンズイ



ツルリンドウ



ヤブソテツ

※科名は従来のものです。

資料参考 笠間の自然

<評価・課題>

市域に生息・生育する植物の状況を把握するため、自然環境調査を計画どおり実施しました。

また、茨城県環境アドバイザー2名を講師に招き、自然観察会を4回開催しました。参加者は、延べ100名でした。

今後も、地域の植生の調査を継続して実施していくとともに、調査結果および生育情報の提供を行います。



1-2 かさまの自然再生

〈ねらい〉 市内の里地里山や河川・ため池を対象に市民、事業者と協働により生態系を考慮した整備を行うことで、本来の自然環境を再生し持続的に保全を行います。また、再生・保全した自然資源を活用し、さらなる保全の推進を図ります。

〈実施事業〉 ビオトープを活用して自然体験学習に参加しよう！

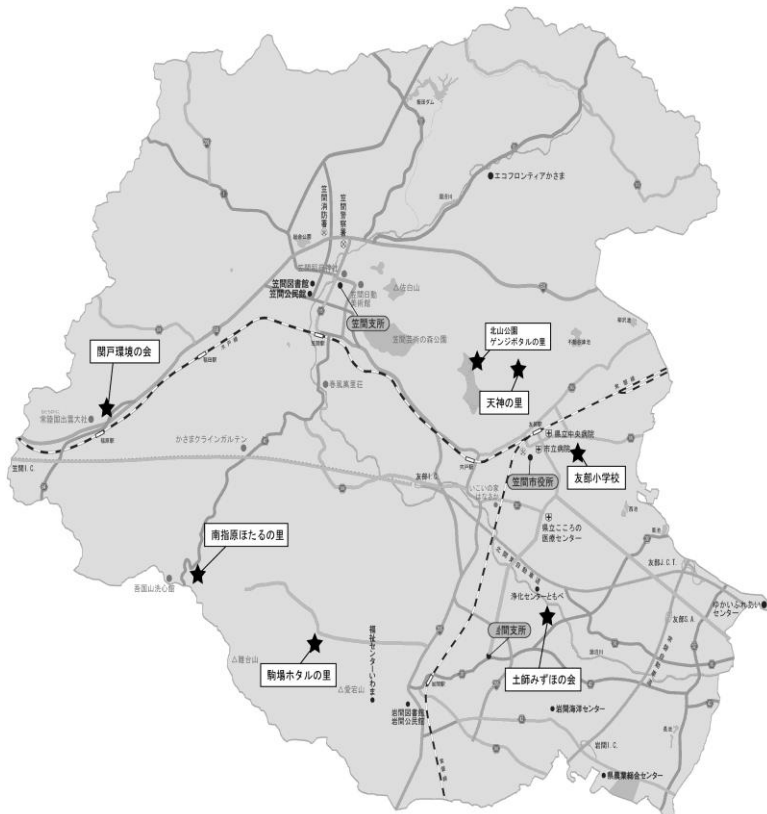
取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
ビオトープ整備	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所
水辺観察会など自然体験学習イベントの実施回数	5回	5回	5回	5回

実施内容

自然再生事業により整備した、ビオトープの適切な活用を促進するとともに、水辺観察会など自然体験学習イベントを開催します。



ビオトープ位置図



① ゲンジボタル観察会 (担当課:環境保全課)

6月11日(土) 27人参加

ビオトープ天神の里周辺において、ゲンジボタルの観察会を実施しました。ゲンジボタルの成虫、卵や幼虫についての説明を受けたあとホタル観賞を行いました。ゲンジボタルの飛翔数は、40～50匹と昨年並みでしたが、田んぼの上をゆうゆうと飛ぶ姿を見て、みんなで歓声をあげました。

② オオムラサキ観察会・昆虫観察会(担当課 環境保全課)

7月2日(土) 18人参加

ビオトープ天神の里において、オオムラサキや昆虫について説明を受けたあと観察を行いました。オオムラサキの成虫は、見ることはできませんでしたが、さなぎや羽化後の抜け殻がありました。また、メダカ・カブトムシなどいろいろな昆虫を観察することができました。



③ 夜の昆虫観察会 (担当課 環境保全課)

7月23日(土) 27人参加



昆虫について説明を受けたあと、ヘイケボタルなどの昆虫観察を行いました。ヘイケボタルの里や天神様前の暗闇の中で、ヘイケボタルやクロマドボタルを観察しました。

また、バナナやパイナップルに集まるカブトムシ・光トラップに集まるセミやカミキリムシなどを観察しました。

④ 天神の里つり大会 (担当課 環境保全課)

8月6日(土) 子ども26人参加

竹を使った自作のつり竿で、淡水魚のフナやクチボソなどを釣り上げ、在来魚の観察を行いました。小魚の釣果は、フナ・クチボソなど合計で36匹。ザリガニは、52匹でした。



⑤ 里山ウォーク（担当課 環境保全課）

11月5日（土）6名参加

天神の里から白鳥湖堰堤，茨城県教育研修センターから展望台へ。休憩所を経て白鳥湖畔をたどって戻るコースを歩きました。紅葉には，ちょっと早めでしたが，センブリやリンドウの花をたくさん見ることができました。



<評価・課題>

ビオトープについては，市民団体等が主体となって維持管理を行い，整備箇所目標を達成しています。また，自然体験学習イベントについては，ビオトープを活用した観察会や，河川を利用した学習会を開催し，身近な自然環境に対する意識の高揚を図りました。

今後も，市民団体や地域と連携・協力して、ビオトープの整備推進，自然体験型のイベントを提供していくことにより，豊かな自然環境の保全・再生に努めていきます。

1-3 生物多様性保全推進

〈ねらい〉 生物が生息しやすい空間を整備することで、多くの生物が生息・生育できる環境を形成し、生物多様性を保全します。また、外来生物に対して「入れない・捨てない・拡げない」を実施することで侵入・拡散を防ぎ、在来生物の生息・生育の保全を図ります。

〈実施事業〉 オオキンケイギクを抜き取るぞ！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
オオキンケイギク処分量	640kg	650kg	650kg	730kg
参加者数	94人	110人	130人	143人

実施内容

市民団体等と協働で、特定外来生物であるオオキンケイギクの抜き取り大作戦を実施します。

●かさま環境を考える会やごみを考える会などの市民団体等と協働で、特定外来生物である「オオキンケイギク抜き取り作戦」を5月28日（土）に実施しました。

抜き取り作業は、市内7ヶ所において14団体（143名）が参加し730kg（450袋で174袋）を抜き取ることができました。



団体名	参加者数	団体名	参加者数
常陽ボランティア倶楽部	39名	蛍の会	2名
NEXCO東日本	5名	かさま環境を考える会	13名
エチオピア未来の子供	16名	ごみを考える会	13名
フォトパソコンクラブ	4名	笠間市役所	26名
笠間工芸の丘	5名	茨城県	4名
あたご四季の会	8名	茨城県自然博物館	1名
イオン笠間店	3名	一般参加者	4名

〈評価・課題〉

生物多様性の保全に向けて、生態系へ影響を及ぼすおそれのある特定外来生物に関して情報提供を行うとともに、定着・拡大の予防対策を行っていく必要があります。その中でも、オオキンケイギクの抜き取りは、継続して行っていることから、着実に成果が表れています。

今後も、市民に対してオオキンケイギクなどの特定外来生物について、普及・啓発をしていながら生態系の保全に努めていきます。

【まち美化・不法投棄対策】

2. すみよいまちづくりプロジェクト

2-1 かさま環境美化里親制度普及

〈ねらい〉 かさま環境美化里親制度や花いっぱい運動をはじめとする清掃活動や花壇づくりにより、市民・事業者が主体的に取り組むことで、市内の環境美化がすすんだすみよいまちづくりを図ります。

〈実施事業〉 環境美化活動団体大募集！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
道路里親制度実施箇所数	43箇所	48箇所	53箇所	44箇所
グリーンパートナー制度実施箇所数	5箇所	7箇所	9箇所	5箇所

実施内容

市が管理する公園や道路などの公共スペースについて、近隣の市民や事業者の方々が、市に代わって清掃や美化活動を実施し、協働でまち美化を推進します。

●道路里親制度では、道路を「里子」に、沿道のボランティア団体などを「里親」に例えて、住民と行政が協力し道路の清掃（ゴミ拾い）や除草・花壇の手入れなどを行うなど、美しい潤いある道路環境づくりの推進、制度の普及啓発に努めています。

道路里親団体一覧(県道)

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	笠間市岩間地区日赤奉仕団	国道 355 号(下郷地内)	1.5km
2	土師ひやくしょう塾	県道水戸岩間線(土師地内)	1.0km
3	ひまわりの会	県道茨城岩間線(安居地内)	1.5km
4	まちづくり宍戸塾	県道大洗友部線(平町地内)	1.0km
5	下市毛まちづくり同好会	県道笠間つくば線(第2踏切付近)	1.3km

道路里親団体一覧(市道)

資料提供 管理課

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	あたご四季の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.5km
2	岩間山の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.0km
3	泉山根区	市道(岩)西 485 号線外	1.8km

4	岩間東町一区	市道(岩)Ⅱ級11号線外	0.5km
5	日吉町区一班	市道(岩)Ⅰ級6号線外	0.9km
6	日吉町区二班	市道(岩)中330号線外	1.4km
7	日吉町区三班	市道(岩)中133号線外	0.7km
8	日吉町区四班	市道(岩)Ⅰ級6号線外	1.1km
9	日吉町西区	市道(岩)Ⅱ級11号線外	0.6km
10	吉岡二区	市道(岩)中331号線外	0.7km
11	春日町はなみづき	市道(岩)中330号線外	0.6km
12	春日町さくら	市道(岩)中330号線外	0.5km
13	ひまわりクラブ	市道(岩)Ⅱ級6号線外	2.9km
14	春日町一区	市道(岩)中330号線外	0.6km
15	寺平地区	市道(笠)4138号線	1.0km
16	吉岡一区	市道(岩)中330号線外	0.6km
17	宮前交遊会	市道(友)1317号線	0.6km
18	下市毛まちづくり同好会	市道(笠)2205号線外	1.8km
19	南指原高齢者クラブ	市道(笠)3614号線外	0.5km
20	本戸荒牧自治会第一班	市道(笠)0230号線	0.6km
21	本戸荒牧自治会第二班	市道(笠)3385号線	0.5km
22	本戸荒牧自治会第三班	市道(笠)3384号線	0.5km
23	本戸荒牧自治会第四班	市道(笠)3372号線	0.5km
24	NPO法人ビオトープ天神の里を作る会	市道(友)2級4号線	0.7km
25	旭町西区会	市道(岩)中122号線外	0.5km
26	51区新谷地区里親会	市道(笠)110号線外	1.0km
27	第28区第1班	市道(笠)1210号線外	0.6km
28	第28区第2班	市道(笠)0118号線	0.6km
29	第28区第3班	市道(笠)1316号線	0.9km
30	山吹を育てる会	市道(岩)Ⅰ級15号線	0.5km
31	吉岡一区絆会	市道(岩)中184号線外	1.0km
32	みずほパトロール隊	市道(笠)0106号線	0.6km
33	ギャラリーロード商店街	市道(笠)2336号線	2.0km
34	自然環境美化推進会議	市道(笠)0112号線	0.5km
35	西友会	市道(笠)0220号線外	2.3km
36	倉作道路里親会	市道(笠)1157号線外	2.1km
37	本戸鍛冶屋組	市道(笠)0112号線	0.9km
38	香取会	市道(友)1級3号線	1.3km
39	第77区 田利組合	市道(笠)0230号線外	4.0km

●「笠間市都市公園グリーンパートナー制度」による、市民の自主的な都市公園の美化活動を推進し、親しみやすい公園にするため、グリーンパートナー協力団体の拡充に努めます。

グリーンパートナー制度実施団体一覧

資料提供 管理課

No.	公園名	団体名	面積
1	いなだふれあい公園	神田自治会	1,150 m ²
2	鯉淵公園	柿橋総区	5,641 m ²
3	友部駅前児童公園	仲町区	2,868 m ²
4	城南やきもの通り公園	第16区	1,701 m ²
5	友部第一児童公園	南町三班	1,200 m ²

<評価・課題>

道路里親制度については、制度の普及啓発などにより登録団体が徐々に増加しています。今後も、道路里親制度の普及に努め、地域の方々による道路の清掃・美化等の促進を図るなど、地域と行政の協働による道路環境づくりを推進します。

一方で、グリーンパートナー制度の実施箇所数は横ばいが続いていますので、制度の普及・啓発をより一層努めていく必要があります。

2-2 マナー向上推進

〈ねらい〉 ポイ捨てや不法投棄，家庭騒音について，マナー学習や啓発活動を行うとともに，ルール徹底や笠間市すみよい環境条例の周知を行い，市全体のマナー向上を図ります。

〈実施事業〉 環境美化マナーについて学ぶぞ！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
イラスト応募数	—	170件	200件	133件

実施内容

環境教育の一環として，市内小中学校において環境美化マナーを守ることの大切さについて学ぶことを目的に，「ゴミのポイ捨て」「犬のフン」のイラスト（ポスター）を募集し，看板を作成・設置します。

●市内（小学校11校・中学校6校）合計17校に，夏休み選択式の宿題として募集しました。応募総数133件の中から6件を優秀賞として選定し，10月15日（土）に開催した「かさま環境フェア2016」にて表彰を行いました。

なお，優秀賞の作品を原画として看板を作成し，市内公共施設に設置しました。



〈課題・評価〉

環境教育の一環として，市内小中学校の児童・生徒に環境美化マナーを守ることの大切さについて，学ぶことを目的に「ゴミのポイ捨て」「犬のフン」のイラストを募集しました。今後も，環境美化マナーの普及・啓発に努めていきます。

【3Rの推進】

3. 資源循環型まちづくりプロジェクト

3-1 2Rの推進

〈ねらい〉 日常生活や事業活動、イベント等において、レジ袋の削減や生ごみの堆肥化、不要物の譲渡等の取組を通して、ごみの発生抑制（Reduce/リデュース）及び再使用（Reuse/リユース）を推進し、ごみの減量化を図ります。

〈実施事業〉 フリーマーケットを活用しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
フリーマーケット実施回数	2回	4回	4回	2回

実施内容

市民団体等が実施するフリーマーケットを活用し、ごみの減量化及び再使用の促進に取り組みます。

●市民団体（ごみを考える会）主催により、友部公民館駐車場を会場としてフリーマーケットを下記のとおり2回開催しました。

開催日 平成28年 6月 4日（土）
平成28年10月 1日（土）

〈評価・課題〉

市民団体が企画・開催するフリーマーケットの支援やリサイクルに関する情報提供を通じて、リユースを促進しました。

今後も、広報等によりごみの発生抑制（Reduce/リデュース）及び再使用（Reuse/リユース）を促進し、ごみの減量化に取り組むとともに、消費者と事業者が連携した資源循環型まちづくりの構築と環境にやさしいライフスタイルの確立を目指していきます。

3-2 リサイクル促進

〈ねらい〉 再使用されない、再使用された後に廃棄されたごみについて、効率的に回収し、ものづくりの原料として再生利用（Recycle/リサイクル）したり、焼却時の熱エネルギーとして活用することで資源の循環・促進を図ります。

〈実施事業〉 資源物のリサイクルに取り組もう！

取組指標	現状(H27)	中期(H32)	長期(H37)	平成28年度
資源物分別回収 (集団回収)量	966t	1,000t	1,000t	836t
廃食用油回収量	1,470ℓ	1,500ℓ	1,600ℓ	2,545ℓ
小型家電回収量	37kg	40kg	40kg	126kg

実施内容

子ども会等で実施している資源物分別回収や、家庭から排出される廃食用油の回収、鉄やレアメタルといった有用な金属を含む小型家電の回収等に継続して取り組むことで、資源物のリサイクルを推進します。

●本庁（環境保全課）、各支所地域課の窓口において資源物を回収し、資源の循環を図りました。

資源物品目(17品目)

ダンボール	新聞紙	雑誌類
布類	アルミ缶	スチール缶
ポリケース	ビール大瓶	ビール中瓶
ビール小瓶	ビール特大瓶	一升瓶ケース
一升瓶	雑瓶4合瓶	雑瓶2合瓶
ジュース類瓶	廃食用油	

小型家電対象品目(30品目)

デジタルカメラ	ゲーム機	ACアダプタ
計算機	電子手帳	携帯音楽プレーヤー
ビデオカメラ	携帯電話・スマートフォン	カーナビ
ラジオ	ルーター・スイッチ	ICレコーダー
補聴器	ポータブルDVD・BDレコーダ/プレーヤ	電子書籍端末
タブレット端末（PCリサイクルマークのないもの）	磁気ディスク装置等	ゲームソフト（CD・DVDを除く）
電子体温計	電気式温湿度計	電子式ヘルスマーター
電子式ベビースケール	デジタル歩数計	フィルムカメラ
ヘアードライヤー	電気かみそり	電気脱毛器
電動歯ブラシ	電子時計	電気時計

〈評価・課題〉

資源物・廃食用油・小型家電を回収し、資源の循環することができました。今後も、リサイクルできる資源物について回収し、資源の循環利用を推進していきます。